



シリーズ第15回 この本をあなたにも薦めたい

『雲の墓標』 阿川 弘之著

この本の舞台は第二次世界大戦中の日本。主人公は吉野次郎、学徒動員で海軍に入隊した青年です。学徒出陣とは第二次大戦末期に文科系大学生等の徴兵猶予が停止され、在籍のまま陸海軍に召集されたことです。数万人規模の学生が出征し戦死された方も多くいらっしゃいます。

物語はこの吉野青年の日記形式で進んでいきます。

吉野青年は京都帝国大学(現在の京都大学)で日本の古典文学を学び、万葉集を愛する若者でした。

海軍の航空隊に入隊し、戦闘機パイロット

トとしての厳しい訓練を重ねていきます。戦争の行方に不安を感じ、訓練という名の鉄拳制裁・先輩のいじめに耐えながら、次第に帝国軍人として国のために戦い、そして命を落とす覚悟を固めていきます。

そんな彼を待ち受けているのは片道分の燃料しか搭載していない飛行機で敵に体当たりする特別攻撃隊いわゆる特攻です。

日記は昭和20年に入っても続いています。「早く8月15日が来ないか」「終戦の前に死ぬんじゃないぞ」と思いながら読み進めていきますが、吉野青年を待ち受ける運命は苛酷です。思わず涙が流れます。

最近の雑誌に「(第二次世界大戦で)日米が戦ったことを知らない」、さらには「日米のどちらが勝ったのかを知らない」若者が増えているというエッセイが掲載されました。戦争の記憶の風化が進む中、『雲の墓標』は、今後、グローバルな分野、様々な領域での活躍が期待される若い皆さんにも是非読んで頂きたい一冊です。

この本を通じ、平和な時代を生きる幸せをあらためて感じ、国際政治、歴史、家族愛や友情などを学んで頂ければ幸いです。

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会
評議員 今井 一朗



奨学生の年度別、出身高等学校別進学先

出身高等学校	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
恵那	名古屋大 金沢大 信州大	名古屋大(2人) 金沢大	大阪大 岐阜大 信州大(2人) 名古屋大	大阪大 名古屋大(2人)	14
恵那農業	静岡大	名城大	名城大	—	3
中津	—	—	岐阜大 富山大	三重大	3
中津商業	中央大	南山大	—	—	2
坂下	—	中部学院大	—	—	1
土岐商業	中央大	南山大	—	—	2
多治見北	名古屋大 東京大 千葉大	慶応義塾大 同志社大 名古屋市立大	横浜国立大	愛知県立大 早稲田大 信州大	10
多治見	—	—	筑波大	—	1
瑞浪	南山大	—	—	—	1
瑞浪龍澤	—	—	東京外国語大	—	1
可児	南山大	—	—	名古屋大 岐阜大 大阪大	4
加茂	—	愛知大	お茶の水女子大	—	2
加茂農林	—	宮崎大	—	—	1
美濃加茂	—	—	東京大	—	1
関	神戸大	一橋大 名古屋大	慶応義塾大	京都教育大	5
武義	—	—	愛知教育大	—	1
岐阜	岐阜大 広島大	—	中央大 岐阜大(2人) 東京外国語大 早稲田大	京都大 東京工業大 岐阜大	10
岐阜北	—	同志社大 名古屋市立大 筑波大	—	—	3
加納	南山大	新潟大	—	名古屋大	3
長良	—	名古屋大	—	愛知教育大	2
岐山	岐阜大	東京学芸大 南山大	岐阜大	—	4
県立岐阜商業	—	中央大	中央大	—	2
岐阜農林	—	—	—	日本福祉大 筑波大	2
羽島北	岐阜大	—	—	—	1
岐阜女子	東北大	—	—	奈良女子大	2
大垣北	早稲田大	愛知教育大 東京大 金沢大 名古屋大	大阪府立大 富山大	名古屋大 京都大	9
大垣南	—	岐阜大	—	—	1
大垣商業	中央大	早稲田大	—	名古屋大	3
大垣日大	滋賀大	静岡大	—	—	2
斐太	金沢大 山形大	金沢大 慶応義塾大 名古屋大 愛知教育大	—	—	6
益田清風	—	—	—	名古屋大	1
高山西	藤田保健衛生大	—	—	—	1
滝	筑波大	—	—	—	1
一宮興道	—	—	名古屋大	—	1
菊里	—	—	—	愛知県立芸術大	1
藤枝明誠	—	—	—	同志社大	1
合計	25	33	25	25	108

平成25年度 奨学生募集中

～奨学金を通じて、本気で学びたい人を応援します～

■選考の流れ



■支給金額・支給方法

支給月額 30,000円(自宅通学・自宅外通学とも)
※返還の必要はありません
支給期間 最長4年(平成25年4月～)但し医学部生は6年
振込日 4、5、6、7、8、9月分 6月中旬
10、11、12、1、2、3月分 12月中旬

■募集人員

大学生 25名程度(短期大学生を除く)

■応募資格

- 新1年生であること(平成25年4月 四年制大学へ入学される方)。
- 岐阜県出身または県内に在住の方
- 人物、学力ともに優れていること
- 経済的理由により修学が困難であること

提出書類、選考基準等につきましては当財団ホームページ、事務局又は高等学校へお尋ね下さい。

E-mail: webmaster@ito-zaidan.or.jp
U R L: http://www.ito-zaidan.or.jp/
発行:公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会
印刷:トーヨー印刷株式会社

伊藤青少年育成奨学会

奨学会だより

2012.10.1
vol.15
年2回発行
(4月・10月)

■平成24年度スポーツ振興支援事業・地域振興事業贈呈式が開催された
■恵那中央図書館開館5周年式典が開催された
■先輩からの便り紹介
■奨学生の声紹介
■奨学生の年度別・出身高等学校別進学先
■平成25年度奨学生募集

シリーズ第15回
この本をあなたにも薦めたい

平成24年度スポーツ振興支援事業・地域振興事業贈呈式

高校部活動 2,300万円 本年度から文化系部活動にも



▲挨拶する小坂副理事長

奨学会は去る7月11日、多治見市東町のセラミックパークMINOで、平成24年度の贈呈式を行った。奨学会は平成11年設立後、積極的な活動をしている高等学校の運動部を対象に、毎年度活動費の贈呈を実施して来たが、本年度より地域振興事業の一環として、高等学校文科系部活動の支援もすることにした。

贈呈式には来賓として岐阜県教育委員会松川禮子教育長をはじめ支援校の部活動顧問、部長、監督など学校関係者ら併せて約60人が参加。小坂副理事長より財団設立へ至った伊藤理事長の青少年へ賭ける想いなどを披露し、各団体へ目録を手渡した。

伊藤青少年育成奨学会設立からの事業費の実績(平成12年度～)

	奨学金	スポーツ	国際交流	その他 (伊藤賞委員を含む)	合計
平成12年度	4,800	13,100	3,000	—	20,900
平成13年度	9,600	10,700	3,000	500	23,800
平成14年度	21,600	6,100	3,000	200	30,900
平成15年度	28,800	10,000	3,000	200	42,000
平成16年度	25,200	10,000	13,000	1,300	49,500
平成17年度	26,280	11,500	3,000	4,000	44,780
平成18年度	31,080	10,400	3,000	3,000	47,480
平成19年度	35,040	11,300	—	—	46,340
平成20年度	37,380	13,310	1,500	2,000	54,190
平成21年度	37,080	8,700	—	7,000	52,780
平成22年度	39,600	12,800	—	1,000	53,400
小計	296,460	117,910	32,500	19,200	466,070

～平成23年4月1日から公益財団法人となりました～

年度	奨学金支給事業	スポーツ振興支援事業	地域振興事業	合計
23	39,600	13,100	2,000	54,700
24(見込み)	39,240	12,400	11,110	62,750
合計(設立から)	375,300	143,410	64,810	583,520

恵那市中央図書館～伊藤文庫～について

当財団は、平成19年度事業として上記事業のほか恵那市へ図書館(※)を寄贈しました。同時に23,000冊の書籍、運営費等1,500万円寄贈。
※鉄筋コンクリート2階建て、延床面積2,652㎡(総事業費10億円)

平成24年度(公財)伊藤青少年育成奨学会 スポーツ振興支援事業・地域振興事業 被支援団体

①スポーツ振興支援事業(県内の高校運動部およびスポーツイベントへの助成)

学校名	部名	金額(円)
県立岐阜商業高等学校	卓球	540,000
各務原高等学校	テニス	300,000
岐阜各務野高等学校	硬式野球	600,000
本巣松陽高等学校	ソフトボール	540,000
岐阜農林高等学校	相撲	340,000
岐阜盲学校	部活全般	500,000
岐阜聾学校	卓球	460,000
	陸上競技	400,000
鶯谷高等学校	フェンシング	750,000
城南高等学校	バレーボール	340,000
大垣北高等学校	硬式野球	150,000
大垣東高等学校	水球	840,000
武義高等学校	水泳	150,000
八百津高等学校	カヌー	800,000
多治見高等学校	硬式野球	1,000,000
恵那高等学校	軟式野球	200,000
	ボート	1,000,000
中津高等学校	ウエイトリフティング	540,000
中津商業高等学校	レスリング	320,000
	バトントワーリング	240,000
中津川工業高等学校	硬式野球	500,000
東濃特別支援学校	サッカー	270,000
	女子バスケットボール	150,000
恵那特別支援学校	陸上競技	220,000
益田清風高等学校	陸上競技	680,000
飛騨特別支援学校 下呂分校	サッカー	470,000
恵那市陸上競技記録会		100,000
合計(22校・26運動部+1スポーツイベント)		12,400,000

②地域振興事業(文化・教育・国際交流に関する事業への助成)

学校名	部名	金額(円)
岐阜北高等学校	吹奏楽	990,000
長良高等学校	吹奏楽	890,000
岐阜総合学園高等学校	吹奏楽	500,000
	太鼓	480,000
各務原高等学校	書道	330,000
岐阜聾学校	音楽	260,000
	太鼓	100,000
岐阜聖徳学園高等学校	吹奏楽	600,000
大垣特別支援学校	鼓笛	310,000
郡上北高等学校	吹奏楽	750,000
可児工業高等学校	電気システム	600,000
恵那高等学校	音楽	850,000
中津商業高等学校	吹奏楽	1,000,000
飛騨神岡高等学校	ロボット	1,000,000
恵那の里次米みのり祭実行委員会		1,950,000
恵那高等学校創立90周年記念事業実行委員会		500,000
合計(12校・14文化部+2団体)		11,110,000

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会事務局

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661-1
TEL 0572-20-0800(直) FAX 0572-29-1168

奨学生の声

……………2012年4月までに提出された学業状況報告の一部です。

立部 有吾

一橋大学商学部3年(関高校卒)

3年生に進学し、更に気の引き締まる思いで授業を受けています。一橋大学伝統のゼミ教育も本格化し、私はコーポレートファイナンスを専攻しています。商学の様々な領域の中で、私は企業の意思決定に興味を持ち、財務の視点から適切な企業活動を行うための分析方法を学んでいます。企業の情報は経営計画や有価証券報告書など膨大で、その中から分析に必要な情報を抽出し、処理することは、これからの私のキャリア形成のためになると感じています。

現時点で私は、投資銀行への就職を希望しています。企業価値評価や、資金調達、M&A案件の提案など、業務は多岐に渡り高度であります。こういっ

大下 恵里菜

名古屋大学法学部法律政治学科3年(斐太高校卒)

2年の後期には、大学入学当初から受講したいと考えていた授業が始まりました。それはPSIという授業で、留学生と日本人学生がグループを作って、お互いの国の文化や法律等様々なことを自分たちで作成した授業プランに沿って学習するというものです。私は中国からの留学生とグループを組んでいます。

2年の後期は私たち日本人学生が日本の文化、法律等について教えました。一緒に勉強していて驚いたことは、日本と中国では考えている前提が異なるために、私達が伝えたいことが伝わりづらいということです。例えば、民法の話をした時のことです。日本では、土地の所有権を個人が持っている自由に売買できるために生じる問題を説明したら、中国では土地の所有権を国が持っているために、個人が勝手に売買することができないとい

田中 祐太

中央大学商学部会計学科2年(岐阜商業高校卒)

学業状況は結果が出ていません。昨年12月に公認会計士試験短答式試験に合格するつもりでいたにも関わらず、不合格になってしまいました。昨年1年間ではまだまだ努力が足りていなかったのだと思います。今も公認会計士試験の合格に向け、日々勉強を続けています。先日の模試では何とか170人強の中で3位という成績であったものの、この結果に気を緩ませることなく、さらにハイペースで知識を広く深くしていきたいと思います。

大学の授業も公認会計士試験を言い訳にして単位を落とすことはあつてはならないことだと思い、ほとんど全ての科目でA判定を取ることができました。中でも将来会計に関わり、そのスペシャリストとして活躍することを望んでいるため、「簿記論」「中級簿記論」「高等簿記論」「財務会計論」といった科目を選んで履修し、周囲には2年生以上の方がほとんどの中、A

清水 美奈

慶應義塾大学理工学部2年(関高校卒)

春学期では物理が自分の思うような成績に届かず悔しい思いをしたので、秋学期は必ず物理をよく理解しようと心に決めていました。授業の積極的な参加はもちろん、週に1度昼休みに行われるTeaching Assistantによるチュートリアルアワーで、理解が難しかった分野などを質問しに行きました。仲間聞くことはもちろん良いとは思っていますが、やはり自分の力で脳の全てを使いつくすまで考え、それから深くまでT.A.や教授に質問した方が頭に残ります。自分で苦しみながら学ぶことを大切に勉強していきたいです。物理の成績が上がった反面、数学にかける時間が減って

鈴木 実穂

お茶の水女子大学文教育学部人間社会科学科2年(加茂高校卒)

大学での勉強はもちろんですが、そのような机上の勉強だけではなく、実際に現地へ行って学業に励みました。2月の終わりからお茶の水女子大学の調査員として東ティモールに渡航しました。東ティモールではUN、NGO、政府の国際アドバイザーの方等、たくさんの方の貴重な経験をお聞きし、実際に現地で働かれている方との意見交換をする中で、自分自身の成長に繋げることが出来ました。また現状での問題点は何か、政府と国民との間のギャップとは何か、これからの東ティモールはどうなっていくのか等、日本にとどまっっているとは分からない事をたくさん学ばせていただきました。

そして3月にはNPO法人地球市民の会の方が主催しているスタディツアーに参加し、ミャンマーへ行きました。学校建設を予定している村でホームビジットをさせていただいたのですが、その際に人々の生きる知恵や力

恵那市中央図書館(伊藤文庫)開館5周年式典開催

去る7月14日、恵那市中央図書館(伊藤文庫)で開館5周年式典が開かれた。同図書館は、平成19年伊藤青少年育成奨学会を通して恵那市へ寄贈し、年間約8万人が利用している。式典には、可知恵那市長他関係者約130人が出席。寄附やボランティア活動で貢献のあった8団体・個人の表彰が行われた。

続いて伊藤理事長より人生の指針や経営理念などについて講話があり、読書の大切さについては次のように訴えた。

“書物は文化の結晶だと思います。どのような時代でも『言葉』をより多く獲得する努力は必要です。『言葉』なくして思考はありません。思考なくして人格はあり得ません。ですから、『よい言葉』に多く接すること、その最良の方法は良書を読むこと。したがって、図書館こそ人材育成の場であり、文化の中心なのだと思います。

恵那市中央図書館には、『伊藤文庫』という副称をつけることをお許しいただき望外のしあわせです。”



▲講話する伊藤理事長

先輩からの便り

2012年3月ご卒業の方からの便りです。

紙面の都合により一部の方からの便りを掲載しました

夢は故郷の活性化

このたび私は大学生活を終え、気持ち新たに社会人としてのスタートを切ることとなりました。これも貴奨学会のこれまでのご支援とお心遣いのおかげと存じ、深く感謝いたしております。併せまして近況報告をと思い、ご連絡差し上げた次第です。

京都で過ごしましたこの4年間、本当に様々な経験をいたしました。その中でも特に大きかったのは、故郷を外から見ることができたということです。私は高校を卒業するまで、生まれも育ちも恵那でした。その当時は都会の生活に憧れ、“何もない町”から早く抜け出たくてたまりませんでした。しかし、京都で一人の生活を始めてみると、いかに多くの人々に囲まれていたのかが実感できたのです。家族に友人、大事な人がたくさんいました。段々と大切な人がいる大切な故郷が好きになり、どうにかして次の世代にもこの故郷をいい形でつないでいきたいと考えようになりました。その夢を実現するため、春からは旅行会社に就職する道を選びました。旅行会社は単に観光に関わるだけでなく、イベントの企画や地域特産品の開発など、様々な手段を用いて地域の振興に携わることができます。入社してすぐに、というわけにはいかないでしょうが、恵那の活性化に関わる仕事ができるよう、これからも勉強を続けて参りたいと思っております。

地域から教育や子育てを支援

この度、3月15日晴れて岐阜聖徳学園大学教育学部を卒業することができました。

大学生生活を振り返ると、この4年間はあっという間でしたが、一生の財産といえる大きな経験や大切な仲間を得ることができました。教育学部に入學し、教員を目指して、勉強やボランティア活動、サークル活動に励んできました。大学の仲間は同じ目標を持ち、互いに刺激し合う大切な仲間です。時には、考え方や価値観の相違からぶつかることもありましたが、ぶつかり合いながらも自分の意志を伝える大切さに改めて気付かされました。歳が上がるごとに自分の意志を表現することにためらいを感じていましたが、自分の意志や意見を表現することがよりよい人間関係につながるのだと分かりました。大学での仲間は生涯の仲間だと自負しております。

また、幼稚園・小学校の2回の教育実習を通して、教育の大切さと教職の魅力を感じることができました。もともと小さい子と関わるのが好きで、子どもと関わる仕事がしたいと思い、教育学部に入學しました。しかしながら、教育実習や子どもたちと関わるボランティア等を通して、「教育」とは学校現場で成立するものではないということに気がつきました。もちろん、現場での教育は直接的で非常に重要ですが、教育を支える地域の役割に興味を持つようになりました。学校現場を支える地域の役割や子育てを

柄澤 一樹

京都大学文学部フランス語学フランス文学専修卒

また、そういった夢を抱いて就職活動をしていた昨年の3月、東日本大震災が発生しました。故郷をあっという間に奪われ、福島の一部地域にいたってはそこへ自由に入ることすら許されないという現実があり、非常に心が痛みます。夏以降に何度か福島県内の各所を訪れる機会があり、多くの方のお話を伺うことができました。やはり、復興への道のりは長く険しいものになるでしょう。そのため、私たちのような若い人間が中心となって被害に遭われた方々のサポートを続けていくことが必要です。故郷への思いは皆同じようにもっているはずですから、その気持ちをもつ者の一人として、できる範囲の支援をこれからも続けていく所存です。

これから社会人として生活するにあたり、多くの責任を伴うこととなります。当然ながら学生とは比べものにならないほどの苦勞があると思いますが、この4年間で積み上げた行動力と忍耐力、そして故郷を好きでいる気持ちをもって、自分の夢へと進んで参ります。多くの素敵な出会いに恵まれたこの期間と、それを与えてくれた家族、そして貴奨学会に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

末筆ながら、貴奨学会の皆様のみますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

上田 昌子

岐阜聖徳学園大学教育学部卒

する家庭を支える地域の役割は表には目立ちませんが、必要不可欠なものではないかと考え方が変化し、地域から教育や子育てを支援できる仕事を志望しました。4月からは地元の市役所で務めさせて頂きますが、子育てをする家庭や保育所、学校と地域の架け橋になれるように精一杯努めていきたいと決意を新たにしております。

この4年間はたくさんの人と出会うことができ、自分の考え方や価値観も変わりました。もちろん、苦勞したことやうまくいかなかったこともたくさんあり、自分の無力さや弱さを感じたこともありました。しかしその反面、仲間との出会いや成功、達成の喜び、弱さを知ってこそその強さや自信などたくさんのお話を聞き、経験することができました。大学4年間がなかったら、このような大切なことを得ることができませんでした。大学生生活を送れたことの喜びを卒業したいま、改めて感じております。このように充実した大学生を送ることができたのも伊藤理事長をはじめ、貴財団のみなさまのおかげです。最後になりましたが、4年間通してのあたたかいご支援本当にありがとうございました。この4年間で糧に今後も頑張っていきます。

あたたかい支援をして頂いた伊藤青少年育成奨学会様に心より感謝申し上げます。また、貴財団の今後のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

鳩山由紀夫が「させていただく」を連発し失笑を買った。過度の謙譲語や尊敬語で教養を疑われるのは良書で研鑽を積んでないと見做されるから。レポートや論文を書く時は丁寧語で十分。